



改修後の病院イメージ

院内報

せい わ

第51号

令和元年9月

藤枝市中ノ合26-1

医療法人社団 **八洲会**
誠和藤枝病院

〈054〉638-3111(代)

診療時間

月～金

午前9:00～12:00

午後1:00～5:00

食の衰え

誠和藤枝病院

院長

田濃

勉

本院は療養型の病院ですから急性期病院で治療が終わったが在宅療養が困難な場合や施設での対応が難しい高齢者を受け入れています。昔は病気で入院すれば最後まで面倒を見てくれましたが今はそうではありません。

ある程度急性期の治療が終わると治療終了として退院を迫られます。医学や医療の進歩により病気自体で亡くなることは少なくなりましたが、高齢者の場合、自宅で生活できる程には良くなり多くの問題を抱えています。そのような高齢者の入院にあたり一番重要なことは食事の問題かと思えます。食欲が低下していたり嚥下機能の低下により食事が満足に食べられない方が多くみられます。折角病気が落ち着いても食事が十分に取れなくては身体は徐々に衰弱して生きていくことはできません。嚥下機能や食欲が低下する原因は基礎疾患によるもの、高齢化や認知症の進行、寝たきり化による身体機能の廃用、消化機能の減退など要因は複雑化と思われま。患者様が十分に食べられない場合は食形態を変えたり少量でもカロリーが高く食べ

やすい栄養補助食品を追加するなど工夫を凝らしていきます。それでも食べられない場合や誤嚥による肺炎を起こすような時は点滴治療（末梢点滴）を行います。このような状況になってくるとご家族の方に来院していただき今後の治療方針について相談させていただいています。点滴というのは水分にわずかなブドウ糖が入った程度で長期に渡る食事の代用にはなりません。長期的に水分や十分な栄養を補給するには鼻から胃まで管を通して、その管から流動食を注入する「経鼻経管栄養」か、心臓に近い静脈までカテーテルを留置して「中心静脈栄養」を行うしかありません。しかし基礎疾患によってはこれらの手段で栄養を補給しても栄養状態が改善されないこともあります。ひと頃は腹壁から胃に穴を開け管を通す「胃瘻」が盛んに行われましたが最近では新規に胃瘻を作ることが殆ど無くなりました。また最近では経管栄養も希望されずに抹消点滴のみを希望されるなどご家族の考え方も徐々に変化している印象もあります。医師の判断では経口摂取は到底困難と思われるケースでもご家族が経口摂取の継続を強く希望される場合があります。お気持ちには理解できるのですが、患者様の状況を丁寧に説明をしてご理解を得るよう努力しています。

今から半世紀前、昭和四十年代前半頃は自宅で最期を迎える人も多かったと思います。私の母方の祖父も病気で自宅に寝たきり状態でした。大学生だった私が夏休みに帰省して様子を见に行くと、広い部屋にお腹は大きな揺り鉢のようになり骨と皮の痩せ細った身体で寝かされていたのが今でも目に焼き付いています。食通で料理も上手だった祖父は家族の計らいで好物をほんの少し食べさせてもらっていた様子ですが、最期はそれすらも喉を通らなかったと思います。それでも祖父は満足だったかもしれません。

「接遇について」

事務次長 尾崎健太

近年、病院において「ホスピタリティの重要性」を問われる場面が多くなってきています。「ホスピタリティ」とは、もてなす側ともてなされる側が相互に満足している状態のことを指します。病院に於いて職員と患者様・ご家族両者が相互に満足する為には、まずは職員から相手に対してしっかりと「おもてなし」を行わなければ「ホスピタリティ（相互満足）」の達成は成されません。（おもてなしとは何か は文章が長くなる為割愛します）そこで誠和藤枝病院では「接遇」を昨年度より病院の重点項目として掲げ、勉強会を開催したり、院内での研究発表会の議題にしたりと、取り組みを強化しています。

「接遇」とは「遇＝おもてなし」を持って相手に接することであり、単純に相手に応対するだけの「接客」とは一線を画します。例えば、真冬のレストランに小さい子供を連れた家族がやってきたとします。その時のレストランの対応を例に考えてみましょう。

- ① 接客⇒お客様を空いている席に案内し、注文を取り、お客様に注文された物を運び、食事を終えたらお会計をする
- ② 接遇⇒お客様を空いている席に案内する際、席の希望を聞く。注文を取っている際に、お客様が寒そうにしていたらひざ掛けの提供を提案する。食事中に子供がつまらなそうにしていたら、折り紙を折って楽しませてくれる。会計を済ませ帰る際に丁寧に見送りをしてくれる。等々

ホテル業や飲食業では当たり前のよう实施方式、日々研鑽を重ねている「接遇」ですが、病院ではまだまだ浸透していないのが現状です。誠和藤枝病院では、単なる「接客」ではなく「接遇」を提供できるよう職員同士が注意を払い、知識と意識を高め、最終的には「ホスピタリティ（相互満足）」が達成できることを目指して参ります。

患者様・ご家族の皆様も何かお気づきのことがあれば、当院スタッフまでお伝えください。もしスタッフに言いづらい場合は、1Fロビー（TVとソファが置いてある場所）に意見箱を設置しておりますのでそちらに投函してください。いただいた貴重なご意見を基に、より良いサービスの提供に努めて参ります。

俳句コーナー

誠和藤枝病院に入院中の患者様に

夏の俳句を詠んでいただきました。

・人生は みんなのために 輪になって I.I

※入院して2ヶ月。これからもっと元気になりチャレンジして行きます！

・夏バテに リハビリ励み 歩けるよう N.S

・夏の朝 マラソン人の 足軽く T.U

・激流の 川面を登る 若き鮎 M.I

個人情報保護の為、
俳名はイニシャル表記しました。

職員募集

◎正・准看護師

◎介護職員

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで

詳細は当院ホームページにて↓

<http://www.seiwa-fujieda.jp/>

ブログも更新中…!

編集後記

誠和藤枝病院の改装工事もおかげさまで折り返し地点となりました。患者様がいのがらの改装工事ですので、皆様のご協力あってこそ可能な工事です。

残りの工事期間も、作業に伴う騒音や匂い等ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、事故の無いよう慎重に進めて参ります。患者様のより良い療養環境を確保する為、どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。(O)

